

Ⅲ) . 施工方法

【 従来の縁切り工法とタスペーサー工法との比較 】

屋根面積100㎡として	従来の縁切り工法	タスペーサー工法
施工手順	塗装完了後の施工	下塗り後の施工
作業品質	1. 塗装完了後、1日、2日後でも、塗料の乾燥状態によっては屋根材が密着してしまうことがある。 2. 屋根材コグチ部の破損 3. 仕上げた塗膜にキズや汚れをつけてしまう。	塗装工程中に隙間を確保できる。
作業所要時間と費用	2人工で1日作業になる。 約50,000円～60,000円	約2時間で終了。 約35,000円～40,000円
安全性	1. 必要な隙間が確保されず、毛細管現象をひき起こす場合がある。 2. 必要な通気性が取れない。	屋根材裏面に浸入した雨水の排出と、その後の適度な通気性が確保できる。

タスペーサー工法手順

1. 下地調整→2. 下塗り→3. **タスペーサー挿入**→4. 中塗り～上塗りの手順になります。（下の図画参照）



下塗り



タスペーサー挿入

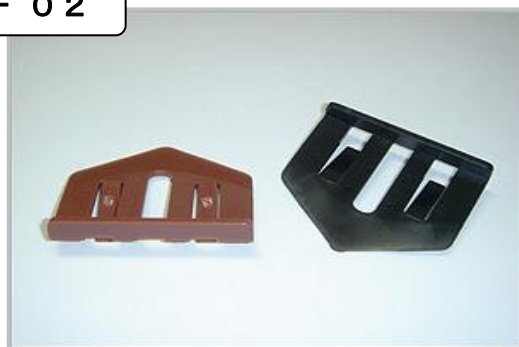


中塗り～上塗り

タスペーサー挿入箇所

1. 屋根材幅（900mmまで）の場合、両端（左右）15cm位の箇所に、2ヶ所挿入。
2. 屋根材幅（600mm以下）の場合は、片側（左右どちらか）1ヶ所挿入。

タスペーサー 02



サイズ・色

幅45mm×長さ35mm

厚み2mm

色・・・黒、茶

材質・・・ポリカーボネート

手差し挿入困難な箇所では

2回目の塗替えなどで、屋根材かさなり部が密着している箇所やその他の原因で、挿入しにくい場合は、皮スキ等の工具を使い、隙間を開けて施工してください。



（補助工具）エスパッター

平板スレート屋根塗替え工事での留意点

1. 屋根材コグチ部に、タスペーサーのストッパーが完全に挿入されていることを確認してから、その後の中塗り、上塗りをおこなってください。
2. 一次防水となる屋根材が傷んでなくても、その屋根材の下地（野地板）が傷んでいて、上からの加重などで、下地が撓み、屋根材にヒビが入る場合がありますのでご注意ください。
3. リフォーム時において、昨今、もっとも重要なことが「いえかるて」建物の履歴書とその工事履歴書を作成し、残しておくこととされており、現場調査の時点で、可能な限り屋根裏（小屋裏）から野地板の状態を把握し、記録した上で、施主様にご提案して頂くことをお奨めします。